



邑楽町立邑楽南中学校 学校だより

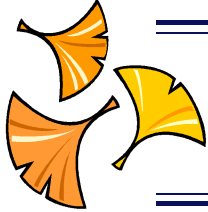
# おうなん

令和2年10月13日(火)

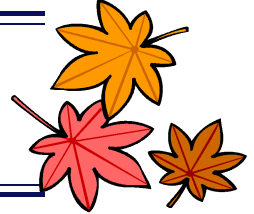
発行 邑楽南中学校

第12号

mail:oramijh@muse.ocn.ne.jp



## 2学期の学校生活 正常化へ Part 2



2学期から学校生活が少しずつ正常化しています。そのご紹介パート2です。

### ①全校が校庭に集まり、初めて全校集会が開催できました。

新型コロナウイルス感染症に配慮し、全校集会を開けませんでした。10月5日(月)に校庭で今年度初めて全校集会を開きました。校庭はキンモクセイの花がちょうど満開で、甘い香りが漂う中、善行少年や郡新人大会の賞状伝達が行われ、その後に校長先生が話をしました。



ソーシャルディスタンスで整列



新人大会ソフトテニス部の表彰



校長先生の話

### ②生徒会役員選挙の準備が進められています。

生徒会本部役員候補者の立会演説会と選挙が10月16日(金)に行われます。コロナ禍では、選挙までの期間、例年行っているような選挙運動はできず、ポスターの下に写真を貼ったり、立候補者の呼びかけや責任者の推薦理由紹介などを給食中に放送で行なったりするなど、制限の多い中でも工夫しながら活動しています。担当の須永先生は、選挙運動が制限されているからこそ、日頃の候補者の学校生活をよく見て判断し、投票してほしいと呼びかけていました。

選挙活動で大切なことを須永先生から聞く選挙候補者と責任者、選挙管理委員たち(左)



選挙管理委員長の〇〇〇〇さんからのあいさつ(右)



### ③郡駅伝大会が行われ、男女1チームずつ参加しました。



本番前の学校での練習で、真剣に庄田先生の話聞くメンバー（右）  
大会を終えて、笑顔で「はいチーズ」（左）

新型コロナの影響で、間際まで開催が心配された郡駅伝大会が10月2日(金)に開催されました。今年は、各校男女1チームずつの出場でしたが、庄田先生を中心に夏休み前からずっと練習に励んできた男女15名の選手は全員揃って出場することができました。結果は男子8位、女子4位でした。今回のメンバーは1,2年生で構成されているので、来年に繋がる貴重な経験ができました。

<男子> 8名のメンバー名

<女子> 7名のメンバー名

## 思春期の子ども理解(7)

来月に三者面談が行われます。3年生にとっては、進路先を決定する大切な面談です。

中3の担任だったとき、面談に来たお母さんが「A高校じゃなきゃダメ!」と言ったまま息子と喧嘩状態になりました。息子は体験入学でB高校が気に入り、B高校を希望していたので、その場では決まらず、「家庭でもう一度話し合ってください」と伝えて面談を終了しました。

子どもにとって、選択の幅が狭いと反発することがあります。A高校に合格しないと、親に認められなくなると焦りや不安を感じることもあります。もしA高校の勉強が難しい場合、ついていけなくなると、「自分が行きたかったわけじゃない」と責任を親に押しつけ、努力しなくなる場合もあります。

実際に高校に通うのは子ども本人です。思春期の子どもたちにとって大切なことは「自己決定」です。行きたくない気持ちで納得せずにA高校に進学しても、充実した日々を送れないと思います。高校卒業後の大学進学先や就職先、盛んな学校行事、部活動…面談前にお互いがそれぞれの高校に行きたい(行かせたい)理由を伝え合うなど、話し合いを十分にし、子どもたちが決定できるように、判断材料を十分に用意しておくことが大切です。💖

## ハロウィーンのお買い物

英語では、それぞれの単元(内容のまとめ)のまとめの時間に、その単元で学習した表現を活用した言語活動をしています。1年生では、ハロウィングッズ店に買い物に行くお客と店員の場面を英語でやり取りし、教師が評価していました。

1年英語担当の森先生とサニー先生がランタンや人形、マスクなどを用意し、ハロウィーンソングを流すなど、本物の店のような環境の作っていました。そんな中で、生徒たちは学習した英語を使って、ちょっと緊張しながらも楽しそうに買い物をしていました。

